

首里城の壁面塗装に要する漆芸技術、正殿内に設置される扁額などの素地制作に要する木工芸技術に関する人材を育成

高度工芸技術者養成研修事業

織物、紅型、漆芸、木工芸の4つの分野について、約1年の技術研修を実施。毎年、各4名程度の研修生が修了している。修了生は現在、壁面塗装のほか、扁額の漆塗り作業に従事している。

研修状況

漆芸研修

漆塗りの基本となる髹漆（きゅうしつ）技術を習得。また、沖縄の伝統的な3つの加飾技術「螺鈿（らでん）、沈金（ちんきん）、推錦（ついきん）」について習得する。



木工芸研修

木工芸の基礎となる木材の性質理解、乾燥技術、木取り技術を習得。また、引出し物などを制作する箱物技術、椅子や卓などを制作する脚物技術について習得する。



首里城復興へ活用するため伐採した樹木の植林及び保育活動

➤ 正殿の小屋丸太梁に使用するオキナワウラジロガシを伐採した跡地(国頭村)に同苗木を植栽するため、地元の子ども達が首里城復元への願いを込めて作った苗木約200本を、令和4年11月に植栽した。



《オキナワウラジロガシ苗木作り (R4.2)》



《大切に管理された苗木》



《苗木植栽 (R4.11)》

➤ 植栽後は、下刈りや施肥などの保育施業を実施。(令和5年度、6年度)
今後も、適切な管理を継続することが重要。



《令和5年度の保育活動 (左: 下刈り前 右: 下刈り後)》

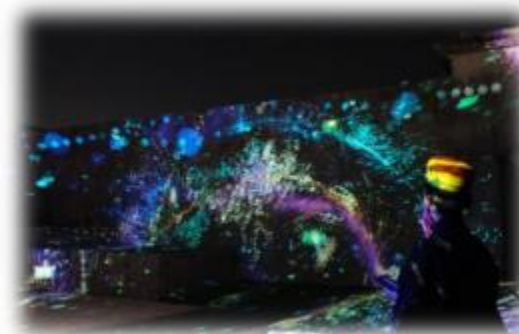
首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有することを目的に、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力の再認識に繋がるイベントを開催。

【日程】 令和5年12月9日(土)・12月10(日) / 令和6年2月17日(土)・2月18日(日)

【会場】 首里城公園 有料区域内



首里城ファンタジアナイト



ものづくり体験(12月:灯籠づくり/2月:時計づくり)

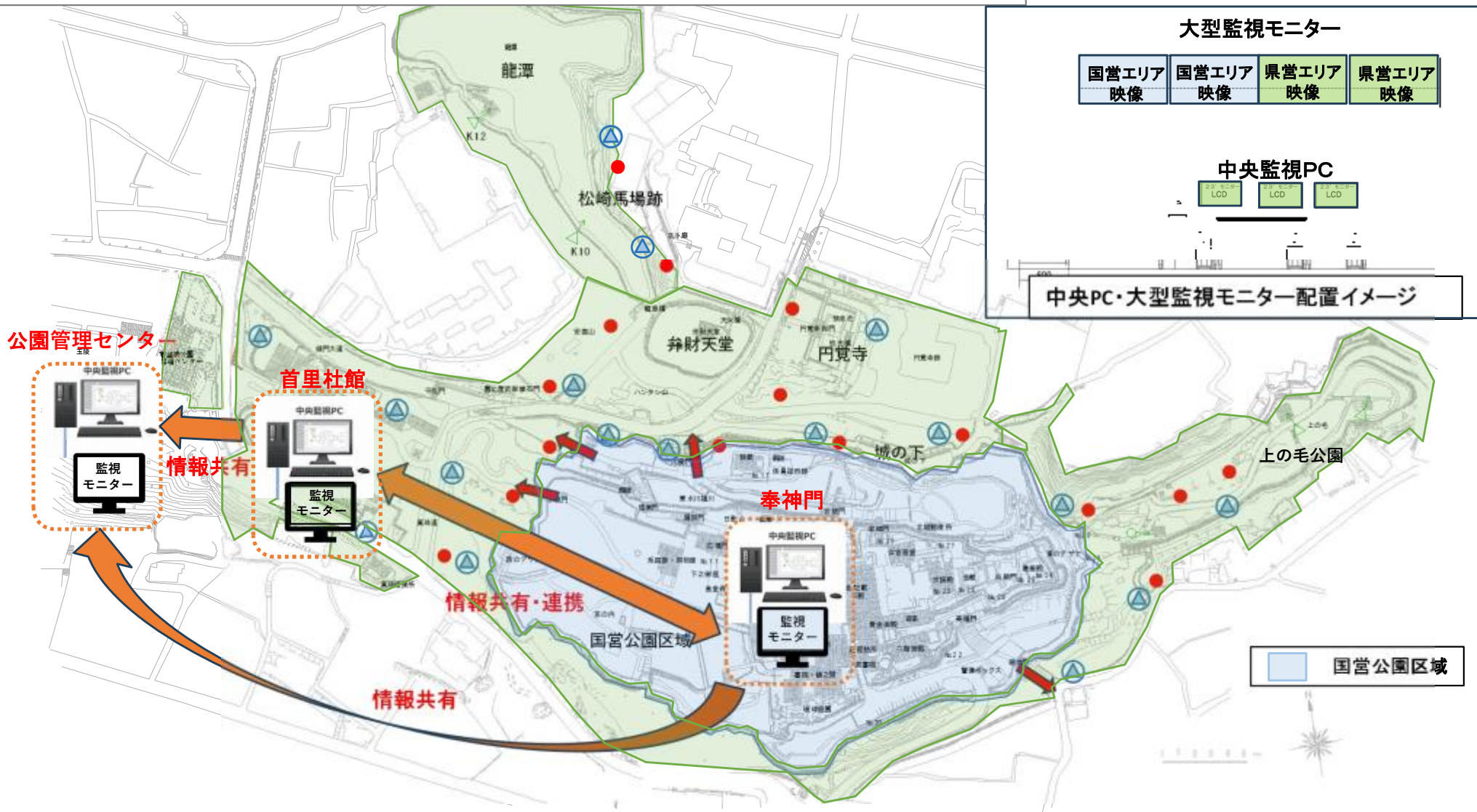


(1) 再発防止に向けた防火設備等の強化

再発防止に向けた防災設備等の強化として、公園全体の防災拠点である**公園管理センター**、県営公園の防災拠点である**首里杜館防災センター**、国営公園の防災拠点である**奉神門管理事務室**の中央監視PC及び監視モニターを連携することにより、相互の防災設備等の作動状況、監視カメラの映像の情報共有・連携の強化を図る。

また、監視カメラ・放送スピーカーを増設し、未然防止・初動対応等の強化を図る。

- : 監視カメラの増設箇所
- ⊙ : 放送スピーカーの増設箇所
- ➡ : 城郭外への避難経路

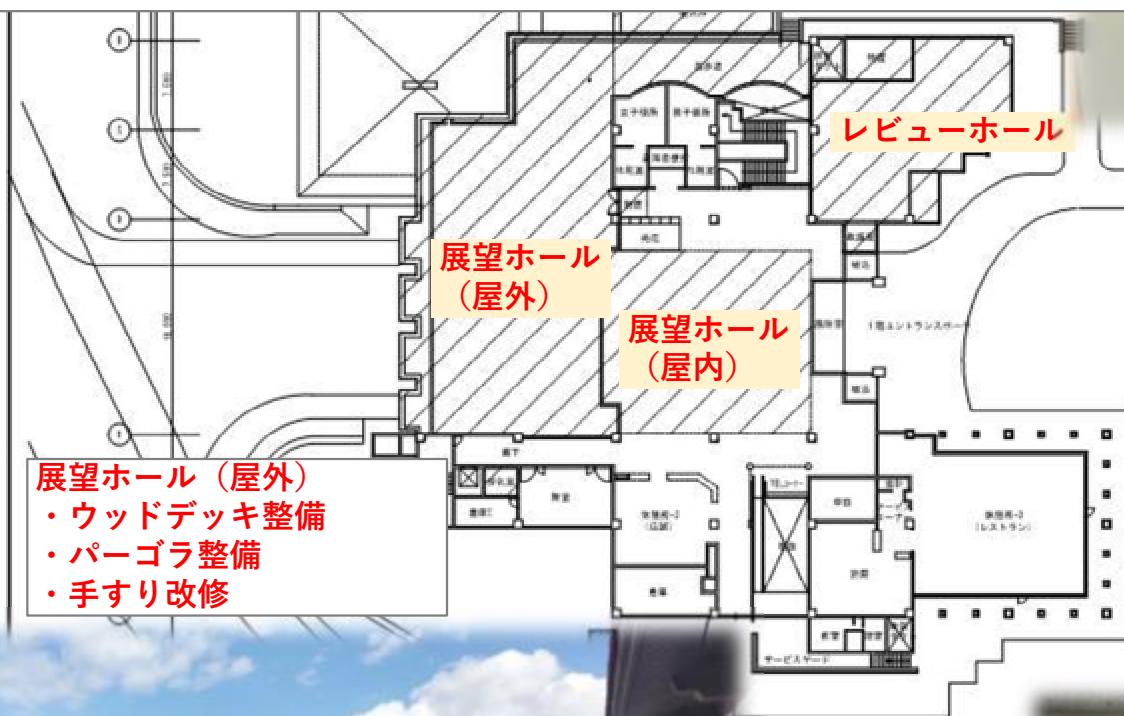


基本施策3. 首里城公園のさらなる魅力の向上 (1) 国営・県営区域の一体的利用 首里杜館 (1階) 展望ホール・レビューホールの改修

令和3年3月に国が策定した「首里城復興全体展示・公開計画」に基づき、首里城公園における「振り返りゾーン」としての役割を担うため、改修工事を実施した。

レビューホールについては、首里城の歴史に関わるモチーフを活用したゲームを整備し、年齢（国籍）に関わらず、楽しみながら振り返り学習できる仕組みの導入を行った。

また、展望ホールは、ウッドデッキ、パーゴラ整備、手すり改修等により体験学習施設としての役割に加え、地域へいざなう空間を演出した。



- レビューホール**
- ・プロジェクター・センサー整備
 - ・首里城パズルゲームの導入
 - ・バリアフリー化

- 展望ホール (屋外)**
- ・ウッドデッキ整備
 - ・パーゴラ整備
 - ・手すり改修

- 展望ホール (屋内)**
- ・屋外へ抜ける8連窓・自動ドア整備
 - ・周辺施設情報を発信する100インチモニターの整備



基本施策3. 首里城公園のさらなる魅力の向上 (1) 国営・県営区域の一体的利用 龍潭周辺公衆トイレ整備

首里城公園のさらなる魅力の向上のため、首里杜まちづくり協議会のなかで地域より要望のあった龍潭周辺公衆トイレの整備、スロープの新設を実施しました。
今回整備したトイレは2カ所あり、城西小学校側は老朽化による建て替え、松崎馬場側は園路整備に伴うトイレ新築を行っております。



外観写真

首里城

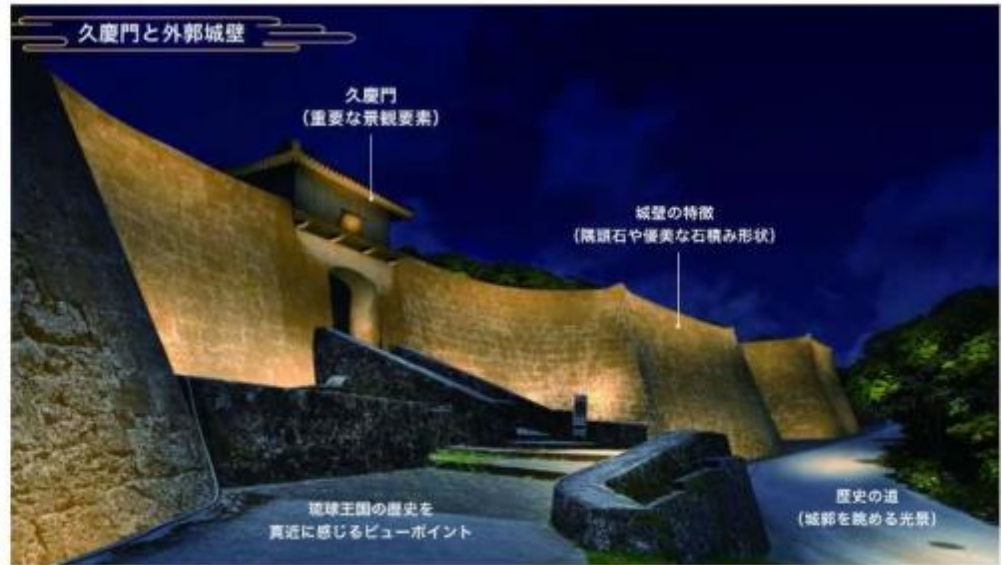


スロープ新設



地域公開の様子

基本施策3. 首里城公園のさらなる魅力の向上 (1) 国営・県営区域の一体的利用 首里城公園のライトアップ実施設計

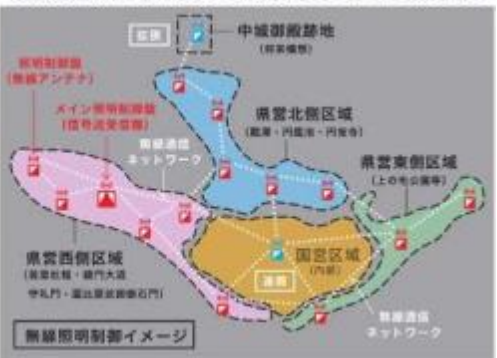
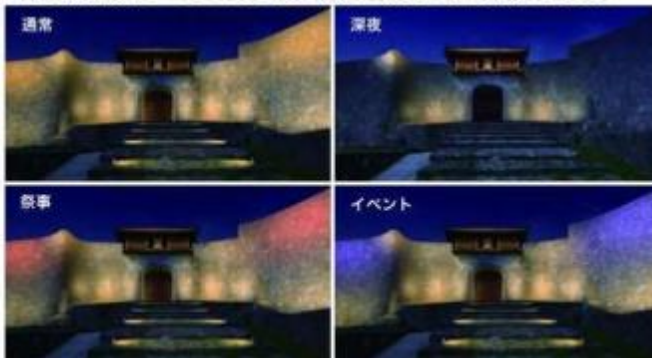


照明デザイン及び照明手法の考え方 照明プログラム / 演出シーンの考え方 無線照明制御システムの考え方

光のコントラストやグラデーションを活かした照明デザインを行い、城郭の特徴や繊細な表情を演出します。照明器具はグレアに配慮し、先進 LED 技術を積極的に活用。最小の器具で最大の照明効果を目指します。

時間や季節・祭事にあわせて光色や明るさ、照射対象を変化させる照明プログラム制御で年間を通じた演出シーンをつくり、地域や来訪者に親しまれる照明環境を創出します。

公園内の全ての照明を一括管理できる無線照明制御技術を活用し、将来的な拡張や塗換にも対応可能な先進のシステムを構築します。



(1) 首里城跡の適正な保全と価値の周知

(2) 文化財等の復元、修復及び収集

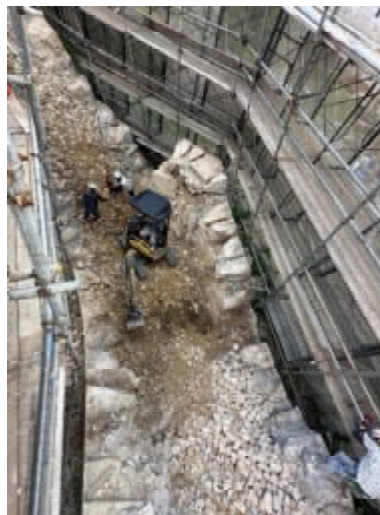
所管課:教育庁文化財課

○首里城復興事業（細事業：首里城跡景観整備事業）

首里城の景観を著しく損ね、危険度が増している外郭城壁や門櫓を修復し、危険度の除去や景観の保護を図る。令和5年度は南城郭石積みの解体・積み直し工事と、継世門櫓の調査設計及び修復工事を実施。



南城郭石積み（平成5～8年度復元）現況



解体状況



継世門櫓（平成9年度復元）現況

○円覚寺跡保存整備事業

史跡「円覚寺跡」の適切な保存と活用を図るための事業。令和5年度は三門本体の復元整備に必要な木材の加工と、斗拱・木鼻・実肘木の製作及び彫刻を実施。



斗きょう部材
本場への転搬状況



斗きょうAタイプ
組立て完了

三門本体一層・斗拱部材木箱収納状況

三門本体上層・斗拱Aタイプ組立完了

○黒漆牡丹七宝繫沈金食籠修理事業

首里城火災で被災した県指定文化財2件の修理を実施。令和5年度は「黒漆牡丹七宝繫沈金食籠」の修理を完了。



黒漆牡丹七宝繫沈金食籠・修理前状況

沖縄県に寄せられた寄附金額（令和6年3月末）

5,907,482,338円

（内訳）

令和元年11月～令和4年3月 **5,541,420,099円**

（首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金）

令和4年4月～令和6年3月末 **366,062,239円**

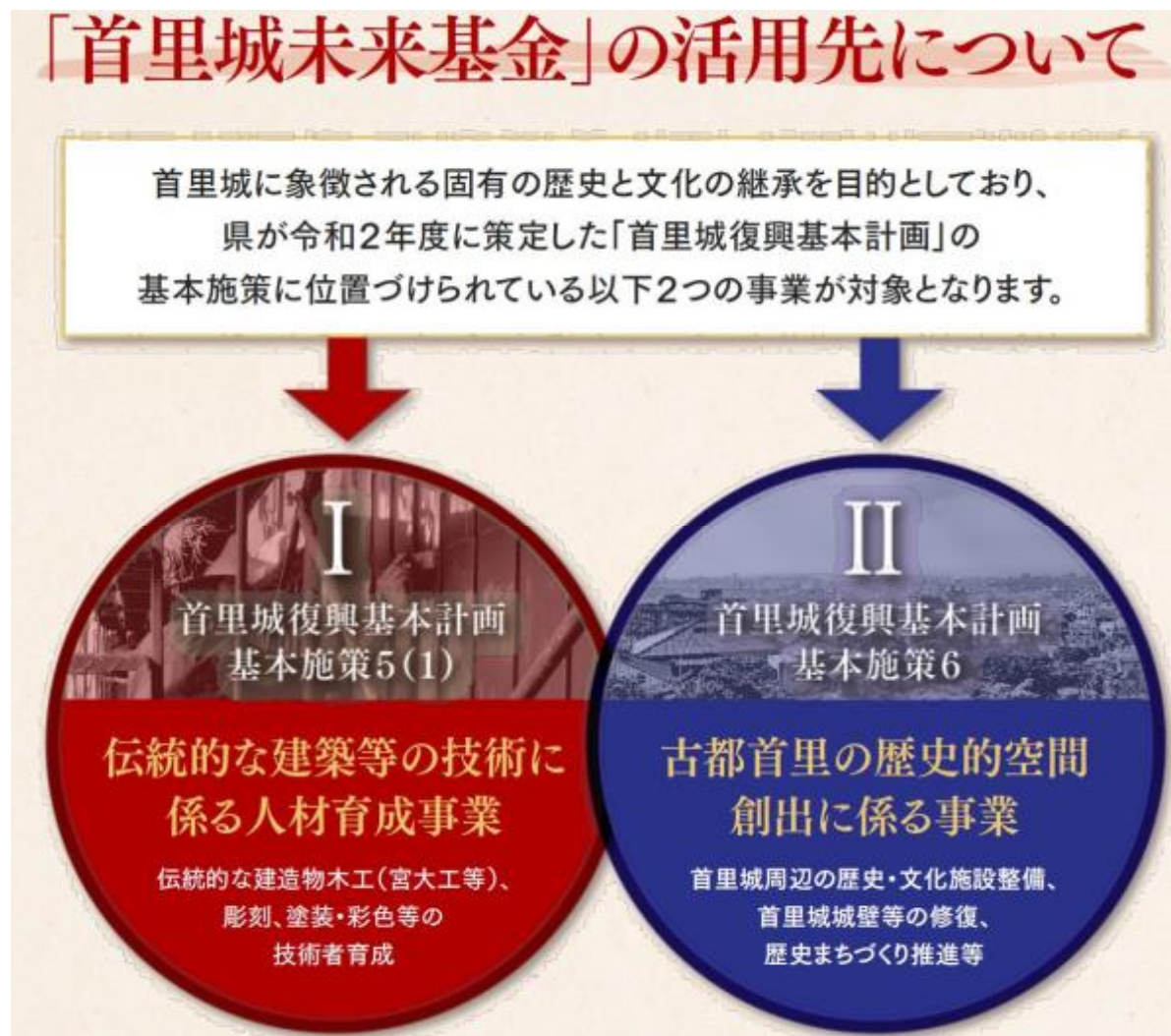
（首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金）

焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させていただきます。活用状況は、マスコミ公開や県ホームページ等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設し、首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

- ・首里城復興基金への寄附受付は、令和3年度末を以て終了。
- ・引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和4年度から下記の基金・寄付金を創設した。



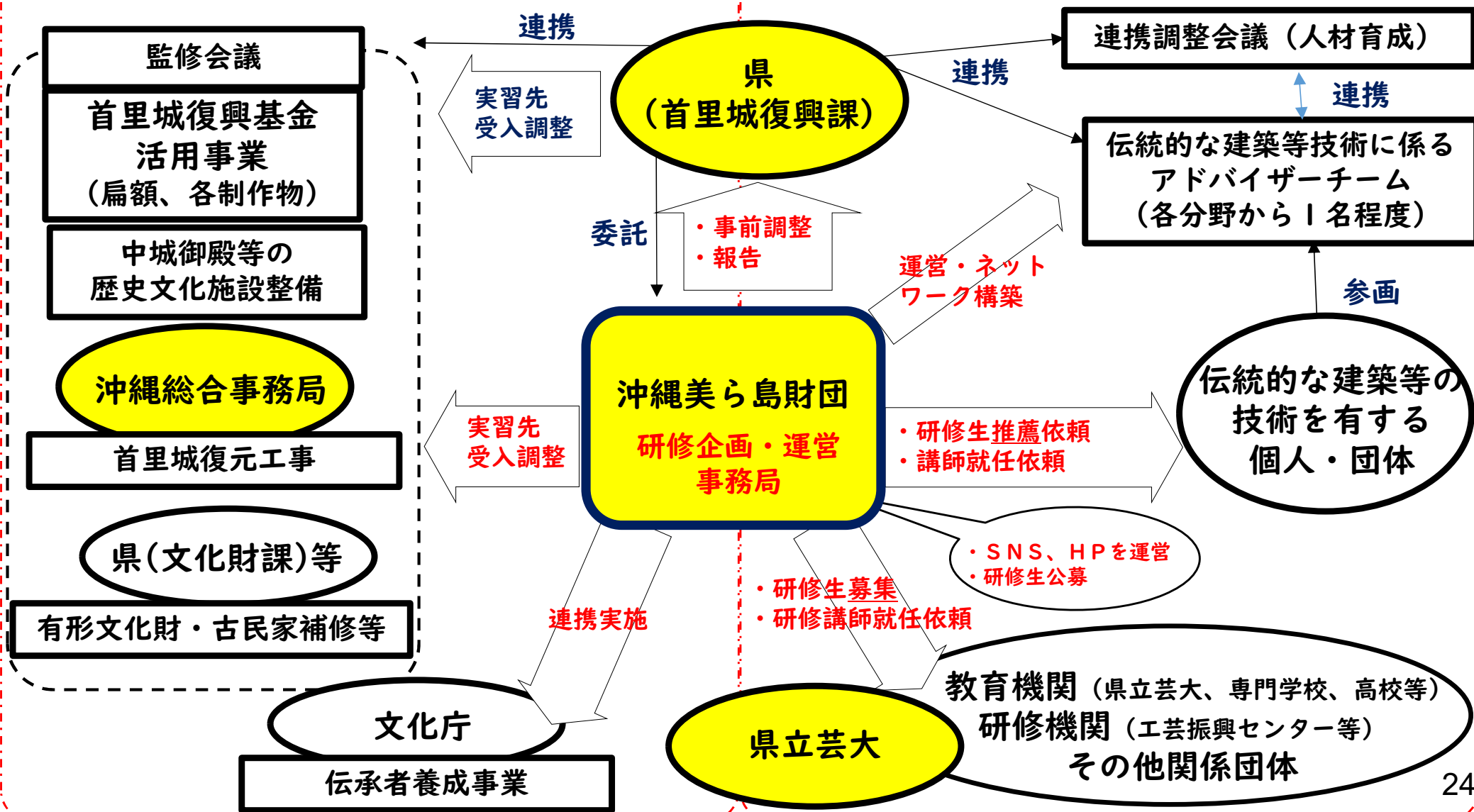
首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む

目的1

復元事業等と連携した研修実施による現場
 即応可能な人材の育成

目的2

各技術団体・個人のネットワーク構築による
 将来自走可能な連携体制整備



令和5年度 研修概要

内 容：座学^(※)、実習、首里城復元現場 及び 先進地視察 合計90～100時間程度

(※文化財概論、木彫刻技術、沖縄の建築と技術 等)

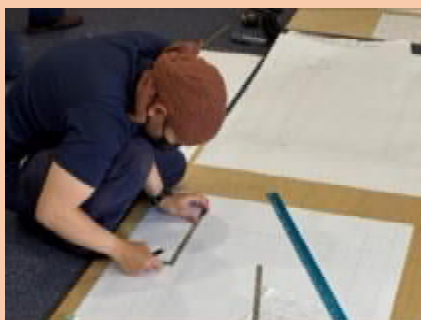
期 間：令和5年9月～令和6年3月

人 数：建造物木工分野 4名、木彫刻分野 3名

首里城歴史文化継承基金事業の研修状況

建造物木工実習

沖縄伝統建築の特徴である貫構造について、仕口加工の作図・加工・組立てを学ぶ実習



木彫刻実習

首里城正殿に施される木彫刻装飾(羽目板)をモチーフとし彫刻技術を学ぶ実習



復元現場視察

首里城正殿復元工事現場及び扁額作業場等、首里城正殿復元現場の視察



先進地視察

法隆寺、薬師寺等の社寺建築や木彫刻仏像修理作業場での先進事例視察(奈良県)

